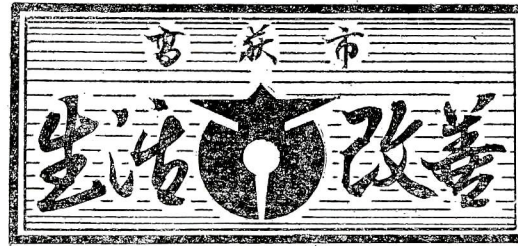


第 4 號

昭和30年12月25日発行



発 行 所
高 萩 市 役 所
編 集
農 林 課
印 刷
藤 枝 印 刷 所

市民の期待に應え 渾身の力を傾注

吉田市議會議長 挨拶

去る十二月五日改選後の初議会に於て満場一致の御推薦により議長に選任され、先輩諸兄をさしおき、己の浅学非才未熟をかえりみず受諾致しました事は誠に汗顔至極であります。議員の皆様はじめ関係各位並に市民の皆様方の御厚志に報ゆる途は粉骨碎身最善の努力を致しまして、この重責を果すことに在ると信じております。昨年十一月二町三カ村の円満合併により高萩市々制施行当時、高萩市建設五カ年計画案を立案しておりましたが、この計画を如何にして実施するかに、市政運営の困難と妙味があると信じます。この計画案が完全に実施された時こそ、高萩市の発展充実があり、市民の暮しよき倅な日が来るものと信じます。この新市建設の基本方針として大要左の事項を申述べます。財政力の強化と自治能力の向上を計り合併町村の特色を活かして、農林、礦工業、商業の振興と教育及観光都市としての充実を期し、交通、通信、道路網を整備し、積極的な工場誘致により財源の増加獲得を計り過剰労働力を吸収し、全産業の均衡的施策を行う事によって、市民各位の融和につとめ、地域住民の全般的な福祉増進を計る事であり、勿論この計画を実行に移すのは執行機関である。理事者の責任であり義務であります。吾々審議決機関である議會と致しましては理事者を擁護すると同時に最大の協力を致し、一日も早くこれを実行に移すべく最善の努力を致すことが与へられた使命と信じます。幸い小萩市長さん以下職員各位には就任以来非常なる熱意と努力のもとに、日頃献身的に、この計画案を実行に移すべく努力していられますと同時に議員各位にも鞭撻相協力致して居りますので、必ずやこれが実施され得る事と信じて居ります。市民皆様にも現在の市政の在り方を御理解下さいまして、正しい判断の下に今後特段の御鞭撻御協力下さらん事を懇願致します。

教育の進展に

微力を盡す

高萩市教育委員会委員長 茂 又 薫

市教育委員長就任の御挨拶を申し上げます。今回各位の絶大なる御支援を得て教育委員長に推薦せられましたことは誠に感激にたえず、かつ責任の重大なことを痛感いたしました次第であります。私の如き者が果してこの重責を擔い得るや否やを案ずるものでありますが、市民各位の絶大な御支援と御鞭撻によりまして、高萩市教育の円満なる進展のために、微力を盡す固い決心と、強い覺悟を持つものでありますからよろしく御願ひ致します。

本市の財政は

総務課

昭和三十年度一般会計歳入歳出を遅ればせながらお知らせする。昨年十一月の合併であるので前年度との比較対照は出来ないので本年度の才入才出のみ掲載することになるが明年度は比較対照は勿論のこと各科目ごとに使途の概況を申し上げたいと思う。

なおこの表は追加予算を含む十二月二十日現在によるものである。

昭和30年度予算 (30年12月20日現在)

歳 入		歳 出	
科 目	30年度予算	科 目	30年度予算
市 税	50,802,650	議 会 費	1,979,984
地 方 交 付 税	22,115,000	役 所 費	23,773,580
公 企 業 及 財 産	1,368,508	消 防 費	3,202,800
使用料及手数料	1,247,950	土 木 費	21,018,259
国 庫 支 出 金	37,940,460	教 育 費	12,229,850
県 支 出 金	6,133,931	社会及勞働施設費	47,382,089
寄 附 金	2,011,000	保健衛生費	2,828,320
繰 越 金	3,544,300	産業經濟費	4,733,320
雜 收 入	100,533	財 産 費	812,195
市 債	4,300,000	統 計 調 査 費	431,906
繰 入 金	200,000	選 挙 費	850,202
		公 債 費	4,752,907
		諸 支 出 金	5,468,920
		予 備 費	300,000
計	129,764,332	計	129,764,332

新暦でお正月をいたしましょう

本市が本年度実践目標としてとりあげている暦の統一については本紙第二号でも申上げたし又過日各戸へチラシをお配りして市民全部が実行するよう推進してまいりましたが今年も余すところ数日となりましたので皆様方の賢明な御理解を得て昭和三十一年の正月を是非新暦で行ないたいと存じます。

反対意見は！

一、気候からみて旧正月は新暦の二月でもあり農作物の収納や燃料(たき木)の蒐集或は堆肥の原料である落葉さらい等の作業も一まず済んで降雪の気節でもあり、また厳寒の候に正月の行事をすれば親戚との年始回礼や農作業の重労働に疲れた体をゆっくり休養することが出来るので旧暦がよい。と云うのが主なる理由であつた。

賛成意見は(反対意見見解へ特に賛成意見として届けられたものを纏めてみた)

一、国が新年への希望と決意に燃えているとき、そして親しい先輩や友人から年賀状が配達され、柱の暦も真新しいものが掛けられ、新聞もラジオも一齊に新しい年の門出を祝っているのになぜ

農家の人達は旧正月から新正月へ切換えることが出来ないだろう。何の感激もない中途半端な気分のように一年が始まってしまふのは何とさびしいことであらうか。

農村の現状は機械化も進み農作業も早く片付くようになったので旧暦でなくとも不都合ではなく一つになった市の中で旧暦と新暦でまち／＼に正月を行うことも、種々の点で不便が多いと思う。

たと長い慣習から漠然と正月は旧正月でなければと云う考へは今こそ切換えて、良い習慣に入ることがとがりもなおさず生活改善への第一歩でありこの際思いきって廃止し今度の正月からは農家も市街地も新暦一本でそろって祝いたいものである。と云う意見であつた。

旧暦から新暦へまだ切換えていない方々、また封建性の強い婦人層の皆さん、不経済的でないやな感じを味わせる二回やるようなお正月は今すぐ止めて生活改善の第一歩として新正月一本に切り換へ市民が一致して新年を迎え、新しい希望と決意に燃えて進もうではありませんか。

門 松 に 創 意 と 工 夫 を

師走も目の前にせまり、クリスマスや正月を迎へる気分にも人も街も何となくあわただしくなってきた。鳩山内閣が新生活運動の一環として、また森林資源の濫費を阻止し併せて山林の荒廃防止を図るため門松とクリスマスツリーの廃止を提唱されてから二年目を迎えることになるが、むしろ年々はでになっていく傾向があることは誠に憂うべきことである。

多額の経費と努力をかけて育成した若木(仲芽)を切

つてクリスマスツリーや門松に使うことは将来見事な大木と思われよう若木を使うだけにその損失は莫大なものであることは誰でも知りすぎるほど知っている筈であるし統計学からみた何十年後の生産量の石数や利用面の数字は今更なこと改めて云はなくても既にわかっていること、思う。

虚礼廃止と貯蓄の欄でも述べているのでくどくどしいことにはなるが門松もクリスマスツリーも絶対廃止せよとは云わないし廃止しな

市役所職員異動

十二月十九日付をもって職員異動が次の通り発令された、()内は旧職名である。

福祉事務所所長	主事	神代 虎五郎(松岡支所長)
税務課長	川井 光(總務課長補佐)	
厚生課長心得	瓦 葺 隆輔(税務課長補佐)	
總務課勤務	柴田 常男(福祉事務所勤務)	
同	本郷 芳(高岡支所勤務)	
上君田出張所勤務	書記 野木 都吉(高岡支所勤務)	
松岡支所勤務	嘱託 小山 義雄(土木課勤務)	
商工課勤務	書記 滝 己之太郎(松岡支所勤務)	
税務課勤務	城戸 勉寿(商工課勤務)	
同	堀 和 昭(松岡支所勤務)	
福祉事務所勤務	書記 石 平 典(厚生課勤務)	
福祉事務所所長兼務を解く	助役 綿 引 倉 蔵	
税務課長兼務を解く	主事 大 森 孟 壽	
厚生課長兼務を解く	主事 鈴木 勝 次	

虚禮廢止と貯蓄

哲 律義な人が世話になつた人を自分の先祖と同様に有難く思い、恩を忘れないために時期を定めて安否をたずねるのを益壽二回と定めたことは佛教渡米に起源

新生活運動を大きくとりあげ各家庭に特に主婦連の協力を望んでいる所以のものは「無駄を省いてお金を有効に使うため、貯蓄しよう」というわけである。

する風習ではあるが父母に
対する謝恩から初まり親類
知人におよび、今では次第
に形式化して、見栄、へつ
らいの行事となり、となく
行過ぎになりやすいまでに
なってきたのである。

とくに歳末に当って金融機
関は勿論のこと各種団体及
び官公庁が貯蓄運動を大き
くとりあげ、今までの生活
態度を反省して、本気で物
と金を節約する心構えを強
調されていることを私達は

しかし「新しい」という生活風習の中には残して置きたいものも沢山ある。

もう一度お互に反省してみようではありませんか。

不必要なものを家計簿を赤

謝恩の心で年に一度や二度位は世話になった方への心の誠実を現す程度の贈答まで廃止すべきだとはることもないだろう。

思わない。たゞ見栄や競争になるような行過ぎは戒むべきことである。冠婚葬祭などで分不相応なことをして後で苦しんでいるほどバカげたことはない。自分の生活は自分で決めるだけの自主性が欲しいものである。虚礼廃止も門松やクリスマスツリーの自粛も新正月一本化も鎮守祭礼の統一も要は生活改善の一つであつて

いまにして改めなければ苦しい生活に追いやられることは必然である。そうなつてから気がついたのではおそ過ぎる。立直りは可能なときにこそ有効なのだ。市民の誰もがこのことを理解されて強く自粛されると共にこれが市民的な新生活運動に盛り上げるきっかけとなれば幸である。

火災予防は日頃の用心で――
望樓監視による夜警とは――

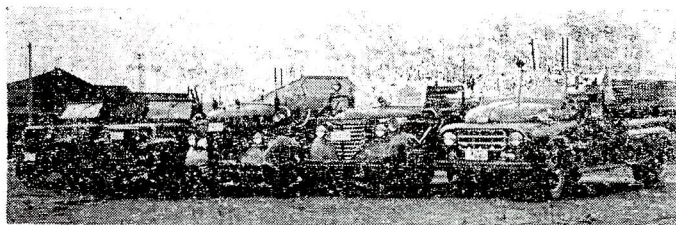
新生活確立の根本的なもの
 というのは、何でもなく生活の安
 全ということであり、これ
 がそ刻下の急務というべき
 であります。

この生活とともにあり、その安全性の確保と向上を図ることこそ、実に新消防の使命であると存じます。

ではこの使命達成のために必要なものは何か、第一に青年性をもつ消防人の消防精神の積極的な発揮でなければなりません。

第二に消防団の機構とその運営でありまして新市発足に伴う新しい消防が期待されるとき市制第二年目を迎へた、今年の夜警実施に当って新しい消防へのテストとして今回計画されたモデルケースとしての望楼監視による夜警実施の成果が直ちに平常設消防に切換えられることも時期の問題であると思う。

単独夜警であつた從來の方法から一歩前進した今回の望楼監視に當る個所は第一支団の第一、第二、第九分団の統合による第一分団の火の見と、また同支団の第三、第四、第五分団の統合による第五分団の火の見の二カ所で常設消防への一段階としての夜警が実施されることになったのであります。而りして今回の新しいころろみである望楼監視のね



【高萩市消防の陣容】

らしいは火災を早期に発見し、早期に消火することであつて従來の経験からして巡回後の発火も相当多く、また統計からみても火災発見の第一番は火災報知機で次が望楼監視が早く電話によるものが第三番となつてゐることを見て望楼監視の実施は當然のことで消防器具其の他の整備と俟つて常設消防に切換へられ、消防の

万全が期されることも、そうおそくはあるまい。
しかし如何に消防施設が完備しても市民各自が注意を

昨今の行事

怠れば火災の絶無は期されないから各家庭、各個人一人一人の火の用心を切に要望する次第であります。

△十一月三十一日より
十一月八日まで

九
日
間

我々が日常飲用している水も唯慣習的に使用しているがこの水は飲用に適しておるかどうか。

市厚生課においては日立保健所の協力のもとに市全般に亘り水質検査を行った。

区は秋山小学校で高裁地区は市公会堂で松岡地区は松岡支所でまた高岡地区は各学校に集荷して本庁に運び

それ／＼化学的な方法により飲用適、不適の検査を実施しその結果を夫々通知した。検査数は四四六点で

過飲用) 二二七点と云う成績で水道施設の要が痛切に感ぜられるわけである。

△十一月二十九日まで

四
日
間

第五回茨城県生活科学展が茨城会館で開催され一日平

均の參觀者一万人と云う盛

会の内に終了された。今回の展示会が皆様の心を暖め

生活への希望が家庭から部

落へとひろがり衣食住の合
理化が一層徹底されて生活

を願う次第である。

展示品並に出品者名

乾麵 秋山 飯田製麵所

未會 上手 朝日製麵所
未會 上手 朝日製麵所

高戸 今川香味噲店

醬油	高萩	石安	釀造店
青酒	高田	黒沢	酒造店

島名

宝来
高次
榮日
刊佳

納豆 高桑 殺田 和郎
福助 下山田 雪作

椎納
葺豆
秋山
棚谷
和雄

八千代おこし 永寿堂
高萩 沼野 義次

元祿まんぢゅう
元祿屋

耐火煉瓦	安
高	益
萩	素

日本耐火工業株式会社
セメント瓦 安良川

神長セメント瓦工業所

川松セメント瓦工業所

人間の心

高萩(商業) 神長 吉衛

広島市の六割を破壊し、その住民十三万を殺傷して全人類を震撼させた原爆が、その後極端に発達したので、今や悲しむべき地球人類終末の日が刻々に迫っているわけである。

しかし、良く考えてみるならば、一発で地球が破壊するほど強力な原水爆でも人間の心が作用しない限り原水爆の自由意志によって勝手に自爆することは出来ないから、原水爆よりも、むしろ冷淡で残酷な人間の心の方が、はるかに恐ろしいと思う。

従って人類の失望や苦惱に対して冷淡な人間の心が、温い隣人愛をもつ様に改善されれば、戦争の不安や社会不安はなくなり、世界に真の平和がくることになると思う。

心は物さしや、秤や秤ではかることの出来ない無形のものであるが、心に思うことは、目で見ることのできる形となって現れてくるから恐ろしい。

例えば、他人の物をほし、いと思う心がつるると窃盗強盗、万引となり、人を恨んだり、憎んだり、嫉妬する心が溢れると、暴行、傷害、殺人となる。

太平洋戦争中、米国は非常に日本人を憎んだ。そし

て広島と長崎に原子爆弾を投下して、女、子供、赤児に至るまで、見さかいなしに惨殺し、再び取りかえしのつかぬことをしてしまつた。このことについて、武者小路実篤氏は、最近の新聞紙上で「原子爆弾を二つまでも落したと言ふ事は、いかなる意味でも永遠に弁解出来ない事が今後益々証明されるのではないかと、思ふ」と述べておられる。

人間愛を標榜し、世界一の文明国と云われる米国でさえ、判断をあまり、この悲惨事を引き起してしまつたのであるから、人間の心は恐ろしい。

終戦後人の心は殺伐となり、人命を軽視する様になったのは誠に残念に思う。特に肉親間の殺人や強盗殺人が多くなったのは驚くばかりである。年少者の自殺も亦多い。これは現代の世相が特に悪いからだと思ふ人の心が冷たく、自分本位で他人を憎み、悪口や陰口に云い、家庭内や隣近所に争いが絶えない様では、青少年のみならず誰でも希望を失ひ、自暴自棄になり勝である。

昨今の世界状況は、キリスト教による神の摂理を中心とした民主主義と、神も佛もない。万物の本質は物質であると云う唯物論を中心とした共産主義と、佛教を中心としたガンジーの無抵抗主義とが問題の中心点となっている様であり、何れも人類の幸福について或は世界の平和について真剣に考え始めた様である。

将来の地球は原水爆によって、ドロムにとかされてしまつてしまつて云々といふので、原水爆戦争は一応遠ざかりつゝある様にも思われる。一方この強力な原子力を利用して、人類を限りなく幸福にしようとする研究が、各国競争で進められていくことはよい傾向であると思ふ。

吾が国で只今問題になっている原子力平和利用については理論的なことはよくわからないが、原子の爆発によって生ずる強大な熱原は発電用、利用され、汽車、汽船、飛行機、ロケット等の動力源となるので、やがて原子力ロケットに乗って宇宙旅行を楽しめる時代も来そうである。

またアイソトープ(放射線同位元素)の利用によつて、癌その他の病気の診断をしたり、農作物の品種改良や増収法等の研究も進められていく様であるから、速かに人類の生活様式は改善せられ、人間はますます長生き出来る様になり、天国が極楽の様な恩恵に浴することが出来ると思ふ。

しかし人間の心がけが悪く、原子力の利用を誤まれば、全人類は地獄行きとも

なりかねないのである。
生か！ 死か！
今こそ吾々は正しい世界に立脚して心を養成し、自分を救ひ、家庭を救ひ、

人を救ひ、明るい郷土建設に前進したいと思ふ。
総ては「人間の心」次第である。三〇、一二記

十一日會について

十一日會は本年三月より高萩市所在官衛庁の長をもつて組織し毎月十一日高萩市役所に正午を期して参集晝休みを利用して約一時間意見の交換発表と事務の連絡をすることを目的とされて作られたものである。

現在二十五の首長が会員となつており本月の例会で、新生活運動の一環として次のことを申し合せた。

昨今の世情に鑑み本年は年賀の新聞広告は一切取止めることとする。

十一日會々則

- 第一條 本會は十一日會と称し事務所を高萩市役所内におく。
- 第二條 本會は高萩市所在の長を以て組織する。
- 第三條 本會は會員相互の親睦と連絡を図るを以て目的とする。
- 第四條 本會に幹事三名を置く、内一名は常任とし高萩市長を當て二名は順番制とする。
- 第五條 幹事の任期は總會迄とする。
- 第六條 本會は毎月十一日ハ土曜日に當る時は繰上げ日曜日の場合は繰下げるハ月例会を開ク。時間には十二時より十三時迄とし、会費壹百四圓当日納入とする。
- 第七條 本會は年二回總會を開ク、日時及会費はその都度幹事會に於て決める。
- 第八條 本會の入脱會は自由とする。但し新規加入者は會員二名以上の紹介を必要とし過半数の承認を求る。
- 第九條 本會は會員の總意により解散する。

- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|------------|--------------|------------|-----------|-------------|--------|-----------|--------|------------|----------|----------|--------|-------|
| 高萩駅長 | 多賀建設事務所長 | 電話中継所長 | 統計調査高萩出張所長 | 高萩警察署長 | 高萩高等學校長 | 高萩自動車營業所長 | 高萩小学校長 | 秋山小学校長 | 教育庁高萩出張所長 | 北方郵便局長 | 食糧事務所高萩支所長 | 高萩地方出納室長 | 高萩家畜保健所長 | 鉄道機關區長 | 高萩市長 |
| 多賀地方事務所長 | 高萩警務署長 | 高萩土木事務所長 | 高萩郵便局長 | 日本専売公社高萩出張所長 | 多賀土地改良事務所長 | 高萩中学校長 | 水戸法務局高萩出張所長 | 高萩税務署長 | 高萩市役所 | 高萩市役所 | 高萩市役所 | 高萩市役所 | 高萩市役所 | 高萩市役所 | 高萩市役所 |



○本号の重点は生活行事の簡素化を探り上げ市民各位に贈る。

○健康は幸福の源泉、水質検査の実施は即、食生活改善の基礎であり全戸飲用水の受検こそ肝要。

○昭和三十年を送るに當り市制一カ年の回顧とし主なる行事の成否を載せたかったが原稿が纏まらず誠に残念。

○市民各位の御愛読と貴重なる御寄稿を感謝すると共に新しい年の発展を祈る (編集部)